

一票に意思 一託す

赤荻小で出前授業

県明るい選挙 児童に選挙啓発 推進協県南支部

選挙や投票に関心を高めてもらおうと、県明るい選挙推進協議会 県南支部は23日、一関市立赤荻小学校(佐藤伸哉校長、児童304人)で社会科の授業に合わせ、選挙啓発の出前授業を行った。6年生47人は本物の記載台と投票箱を使って投票を体験し、選挙の意義について理解を深めた。



実際の投票箱を使って投票を体験する赤荻小の6年生

県選挙管理委員会事務局で、「投票した人の意見局職員(二宮美紀さん)だけで日本のルールやお金の使い方が決まってしまう。選挙の意義や課題と金を使っている若者の投票率、若い人の声が社会の低さなどを説明した上、や政治に反映されなくな

「選挙は自分の意見を示す機会なので普段から自分の住んでいる地域や社会に関心を持ってほしい」と呼び掛けた。グループワークでは、投票率を上げるための工夫について▽参加する景品がもらえる▽職場投票できるシステムを▽投票しなかったら金を科すーといった意図が出された。

好印象は化粧から

一関学院高3年生がセミナーで体験



シヨプカフェ一関のピナーは23日、一関市大町シネスマイクアップセミナーのなかにはなプラザで開かれる高校生が職場にふさわしいメイクの仕方を学んだ。

就職予定の学生に勤め先での印象アップにつながる先のおおと開催。同カフェ就職支援員の千田美穂さんが指導し、一関学院高校の3年生12人が受講した。

千田さんは「見た目が与える印象は大きい。肌荒れが目立つと健康管理ができていないといったマイナスイメージを持たれてしまうかもしれない」とメイクの必要性を強調し、自然な色使いで各自に合ったメイクを手ほどきした。

生徒は鏡を見ながらファンデーション、アイシヤドール、アラインなど一通りのメイクを実践。千田さん(中央)に手ほどきを受けながら、職場にふさわしいメイクを練習する一関学院高の生徒

選挙は秘密を守らなければならぬなど厳しいイメージがあるけど、意外と簡単だった。すぐ終わると知ったので有権者になったら、できるだけ行きたい」と話していた。

今年の干支 東山和紙でシニアプラザ 一関張り体験

一関市シニア活動プラザ



竹籠に一関張りの技法で東山和紙を貼り付ける参加者

仕事のやりがい学ぶ

滝沢小 児童クラブを見学

一関市立滝沢小学校(及川美香子校長)の1、2年生76人は23日、校舎に隣接する放課後児童クラブ「滝沢児童クラブ」の施設建築担当者から、仕事のやりがいについて話を聞いた。建築の面白さを参考として話を聞いた。建築の面白さを参考として話を聞いた。建築の面白さを参考として話を聞いた。



4月から同クラブを利用予定の飯塚君(3年)は「みんなと一緒に勉強したり、遊んだりするのが今から楽しみ」と話し、将来の目標については「岩瀬さんの話を聞いて、自分は野球が好きなので、野球選手になりたい」と意欲を高めていた。

「無刑録」版木、写本展示

一関市大東町の芦東山 記念館は、26日から冬季特別展「新しい時代と無刑録」を開催する。同町年(1696)の書いた「無刑録」



芦東山記念館の冬季特別展「新しい時代と無刑録」のポスター

大東・芦東山記念館 26日から冬季特別展

の元老院蔵版発刊140年を記念して企画され、貴重な版木や写本を展示する。初日は入館料無料。芦東山は江戸時代の儒学者で、仙台藩5代藩主伊達吉村に仕えた。江戸2日で師事した室鳩巢から中国儒家の刑律に関する説の編纂を頼まれたが、藩が学問所を建てる際に席次に関する願書を出したことから反感を買って、24年間の幽閉生活を送った。この間、刑法思想の